

# 学 園 報



富山国際学園	URL <a href="http://www.tii.ac.jp/">http://www.tii.ac.jp/</a>	富山国際大学付属高等学校	URL <a href="http://www.tuins-h.ed.jp">http://www.tuins-h.ed.jp</a>
富山国際大学	URL <a href="http://www.tuins.ac.jp/">http://www.tuins.ac.jp/</a>	富山短期大学付属みどり野幼稚園	URL <a href="http://www.toyama-c.ac.jp/midorino/index.html">http://www.toyama-c.ac.jp/midorino/index.html</a>
富山短期大学	URL <a href="http://www.toyama-c.ac.jp/">http://www.toyama-c.ac.jp/</a>	社会福祉法人富山国際学園福祉会にながわ保育園	URL <a href="http://www.tkfukushikai.or.jp/ninagawa/">http://www.tkfukushikai.or.jp/ninagawa/</a>

●学校法人富山国際学園

〒930-0193 富山市願海寺水口444  
TEL/076-436-5139  
FAX/076-436-5444

## 子どもファースト



理事長  
金岡 克己

大きな話題を呼んだ県立高校の統合再編問題が、新川、富山、高岡、砺波学区各1校、計4校を再編する方向で収束したようです。金岡は、経済界の一人（富山県経営者協会会長）として、県の総合教育会議にて意見表明を行うとともに、県立高校教育振興会議の委員を務め、議論に参加いたしました。

昨年4月の意見表明で強調したことが「子どもファースト」です。次代を担う高校生の教育環境をどのように整備、充実させていくかが基本である。地域についての学びは、小中学校の義務教育9年間でフォローできる。選挙権年齢が18歳に引き下げられており、高校時代は、自立した大人になるための準備期間として、より多くの人々と出会い切磋琢磨することが重要である、との主張です。

この言葉は、トランプ大統領のアメリカファーストに触発されて頭に浮かんだものですが、地元の新聞等にも取り上げられ、統合再編に賛成する立場のみならず、反対の人々にも様々な意味合いで使われるようになりました。

富山県の中学校卒業予定者は1973年に31,995人でした。そして、1986年の19,122人を小さなピークとし、2016年には10,103人まで減少しています。少子化はさらに進み、2017年の県内出生者数が7,302人です。冷静に考えれば再編は不可避です。

最近感ずるのは、日本という世界に誇る豊かな国にしながら、me firstの議論が多いことです。豊かになり情報過多になったがゆえに、他人との小さな差異に

我慢ができない、税金を無駄遣いしても痛痒を感じない人々が増えていると思います。便利さに慣れ、あらゆる社会インフラが自動的に維持される、と錯覚している向きもあるでしょう。高齢化により脳の機能が衰え、周囲への気配りができないのかも知れません。

いかに広い時間的空間的なものを見方をするかというのは、人間の知性を図るバロメーターと思います。その意味で、将来に夢をつなぐ子どもファーストの考え方は、自然であり、重要視すべきものではないでしょうか。

問題は、教育に携わる人々の行動が、子どもファーストになっているかどうかです。口では教育が大事といいながら、実際は、個人の既得権の維持、現状の維持に汲々としている人が多いのではないのでしょうか。

真に子どもファーストであるかどうかは、客観的な目で、子どもにとってよりよい教育環境とは何かを議論し、それを整えるための努力を一人ひとりが行っているかどうかで判断すべきでしょう。

一般の企業であれば、個人、企業の努力不足は、売上の減少、倒産という形で顕在化します。義務教育を中心に、教育界の多くに税金が投入されています。評論、批判ばかりで自ら行動する人が少ないのは、適者生存という、厳しい世の中の原理と直接向き合う機会が乏しいせいかも知れません。

### CONTENTS

□子どもファースト 理事長 金岡 克己 …………… 1	□特集3 富山短期大学付属みどり野幼稚園の園舎改築工事の進捗状況 …………… 4
□特集1 金岡祐一前理事長に「名誉理事長」の称号授与 …… 2	□平成30年度入試状況・平成29年度進路状況等 …………… 5
地方自治法施行70周年記念 総務大臣表彰を受賞して …………… 2	□学園退職者・新任者一覧 …………… 5
□特集2 富山短期大学 福祉学科名称変更及び定員変更、 介護福祉士実務者研修の実施について …………… 3	□平成30年度予算概要 …………… 6～7
	□学園 NEWS …………… 8

## 金岡祐一前理事長に「名誉理事長」の称号授与

平成 30 年 3 月 28 日(水)開催の学園理事会において、平成 5 年 9 月就任以来、23 年余の長きにわたり学園の発展に御貢献された金岡祐一前理事長に「名誉理事長」の称号が授与されました。



称号記を手にする金岡祐一名誉理事長



金岡克己理事長、金岡祐一名誉理事長、安川和子あやな会会長

## 地方自治法施行 70 周年記念総務大臣表彰を受賞して

富山短期大学 学長 宮田 伸朗

平成 29 年 11 月に総務省主催の地方自治法施行 70 周年記念式典が開催され、地方自治の充実発展に寄与した団体・個人に総務大臣表彰がありました。その際、富山県からの受賞者の一人に選ばれ、翌月石井知事から野田聖子総務大臣の表彰状を受賞しました。

受賞理由は「富山国際大学の教授や富山短期大学の学長として教育・研究活動の中核にあって、学術・文化の発展に貢献する一方、その豊富な知識や経験を生かし、県や県内市町村の総合計画や福祉分野など各種審議委員会等の委員として、行政に参画し、地方自治の発展に多大な貢献を行っている。」(富山県 News Release) とのことでした。

福祉職員から短大教員に転じた際の上司からの言葉は「行政と現場、理論と現実をつなぐ教員をめざせ」。以来 30 余年、行政の委員として時代とニーズの変化



平成 29 年 12 月 15 日 富山県庁での伝達式(右端が宮田伸朗学長)

に対応した施策や住民サービスのあり方について学ぶ機会をいただき、大学での教育・研究への還元にも努めてきました。これも偏に学園をはじめ関係者の皆様方のご理解ご支援の賜物と心から感謝しております。

「知(地)の拠点」運営の一端を担う者として、今後も微力ながら、教育・研究の充実、地方自治の発展に向けて精励努力していきたいと思えます。

# 富山短期大学 福祉学科名称変更及び定員変更、 介護福祉士実務者研修の実施について

富山短期大学 福祉学科 学科長 関 好博

## 福祉ビジネス分野とソーシャルワーク分野

福祉学科が大きく変わり始めています。まず、学科開設20周年を機に、平成28年度入学生から学びの幅が広がりました。北陸の高等教育機関では最先発の介護福祉の学びはそのままに、超高齢社会での成長産業の代表格とされる福祉ビジネスをめざすための学びと、社会福祉士をめざしての編入学をサポートする学びが加わりました。

29年度はその完成年度で、福祉ビジネス分野では学生6名が、全員それぞれに病院や福祉施設での事務職員として採用されました。また、社会福祉士をめざすソーシャルワーク分野では富山国際大学子ども育成学部へも、2名が3年次編入学を果たしました。

## 介護福祉士実務者研修を開始

そして、30年度からは、介護保険事業所で働きながら介護福祉士をめざす人たちを対象とした「介護福祉士実務者研修」を新たに開始します。これは、介護の実務3年に加え、最大で20科目450時間の研修を、原則6ヶ月かけて修了することで、国家資格である介護福祉士の受験資格が得られるというものです。また、実技試験が免除されるという特典もあります。

30年度は7月期と12月期の2回、開催することになっています。本学の特徴としては、「介護過程Ⅲ」のスクーリング会場を、県内4箇所のサテライト教室から選べる点にあります。5日間かかるため、少しでも通いやすいよう、新川ブロック、富山ブロック、高岡ブロック、砺波ブロックに1箇所ずつ、実習施設の特別養護老人ホームにご協力いただき、実習指導者をこの研修の非常勤講師に委嘱して行うものです。併せて、曜日を固定しての平日開催として、家庭をお持ちの方への配慮もいたしました。

なお、2日間の「医療的ケア」のスクーリングは、本学での開催にしました。福祉棟実習室の機能と教育機材を生かして、医療的ケアの教員資格を持つ専任教員が行います。

## 「健康福祉学科」に名称変更

福祉学科では、従前から「心理一般」「医学一般」など心身の健康に関わる科目を開講するとともに、最近では「健康スポーツ」「生活援助技術」「介護予防論」の科目において、生涯にわたる健康増進、食と健康・運動など社会参加と健康寿命の延伸についても重視して教育に取り組んできました。

そこで、現行の教育課程及び科目名称には変更を加えず、同一性を確保しながら、近年の福祉・介護を取巻く状況の変化を反映させた学科名称に変更すべく、



新たに「健康福祉学科」として文部科学省へ事前相談登録票を提出し、6月末までには、承認される見込みです。

## 入学定員を40名に

現在の入学定員は60名ですが、県内の他の養成校と同じ40名定員としたうえで、本学4学科のなかでは唯一の国家試験受験学科として、競争力を高めていくことになります。

高校生の介護分野への志望者数は全国的にも減少傾向ではありますが、北陸を代表する介護福祉士養成校としての役割を今後とも果たすべく、28年度入学生から導入となった介護福祉士国家試験での全員合格を前提とした質の高い介護人材を養成するため、少人数でのより充実した教育体制に整備しなおすこととしました。

## 質の高い介護福祉士の養成をめざして

富山県の要介護者は、いわゆる団塊の世代が後期高齢者となる2025（平成37）年には、今よりも約1万3千人多い8万人になると推測されています。介護人材も5千人程度の増補が必要と見込まれています。本県における介護人材の求人倍率はすでに4倍を超えるほどになっており、介護人材の確保は本県においては大きな社会的課題と言えます。

社会基盤である介護保険制度を支える介護福祉士を輩出していくことは、県民の福祉向上に不可欠な条件です。今後とも質の高い介護福祉士の養成に努められるよう、引き続き改革の労を惜しまず、県民の皆様からの負託に応えていきたいと考えています。

# 富山短期大学付属みどり野幼稚園の 園舎改築工事の進捗状況

富山短期大学付属みどり野幼稚園 園長 石動 瑞代

## 園舎の骨組みが完成

昨年12月よりスタートした付属みどり野幼稚園の改築工事。保育室やプレイルーム、事務室などの生活スペースを主とするⅠ期工事は、長かった基礎工事を終え、園舎の骨組みがセットされています。

鉄骨が立ち始めると、2階スペースや保育室の屋根、玄関スペースなど、少しずつ新園舎の様子がうかがえるようになり、子どもたちの期待も日一日と高まっています。



2018年4月下旬の様子（C館2階から撮影）

## 子どもたちの声援をうけて

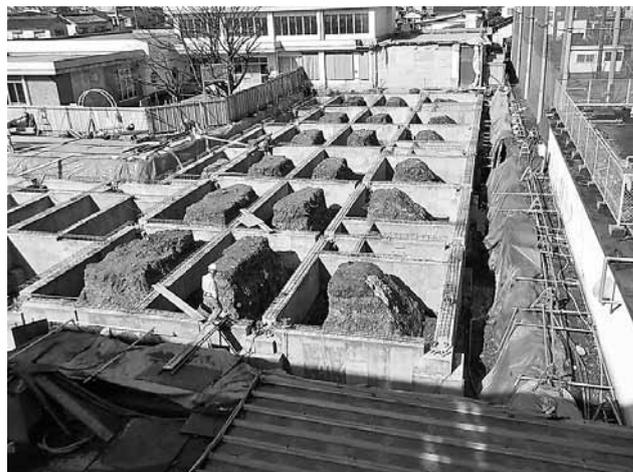
改築工事は、仮囲いや仮通路をつくることから始まりました。工事現場に最も近い年少つばめ組の子どもたちは、工事の方たちに興味津々。「頑張れ～」のかけ声をかける場面も。続いて始まった解体工事では、クレーン車の力強さにびっくり。カニのはさみのような動きが、遊びにも登場していました。



2017年12月の様子

## 記録的な大雪を超えて～重要な基礎工事

今冬は、12月早々に積雪があり、以降、何度も大雪に見舞われました。解体を終えて更地になった園の敷地にも、あっという間に雪が積もり、除雪から工事が始まる日も多かったようです。外部から土砂を入れるなどして、園舎の基礎部分をつくる作業が長らく続きました。時間をかけて行う基礎工事は、土台をしっかりと補強するだけでなく、完成する建物の構造を決める重要な作業です。そして、子育てと似ているなど感じます。建物の下の「目に見えない部分」をしっかりと時間をかけてつくる作業はもちろんのこと、「これから育つべき方向性」を枠組みとして示す作業は、子どものしつけに通じます。やはり、土台づくりが大切なのだと気づかされます。



2018年3月の様子

## 園児とともに

工事現場のすぐ横に、わずかに残った園庭。ケヤキの木周りには、毎日元気な子どもたちの声が響いています。工事の様子を間近に感じながら、子どもたちの生活は普段同様に展開されています。新しい保育室への引越など大変なこともあります。新園舎が少しずつ形づくられていくプロセスを、何より子どもたちとともに、楽しんでいきたいと思っています。

## 今後の予定

8月末までにⅠ期工事が終了。その後、Ⅱ期工事（園庭等外構）へ。2月末までには完成の予定です。

平成30年度入試状況

大学

(平成30年4月4日現在)(単位:人)

学部	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
現代社会	120	237	237	227	127
子ども育成	90	247	243	177	91
合計	210	484	480	404	218

※現代社会学部の合格者数には、第二志望合格17名を含む

短大

(平成30年4月4日現在)(単位:人)

学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
食物栄養	80	115	115	111	79
幼児教育	80	144	144	127	88
経営情報	110	172	171	165	123
福祉	60	34	34	37	31
食物栄養専攻	15	19	19	16	15
合計	345	484	483	456	336

※福祉学科の合格者数には、第二志望合格者を含む

高校

(平成30年4月7日現在)(単位:人)

コース	募集人員	出願者	受験者	入学者
国際英語コース	2クラス	238	233	56
特進コース	2クラス	662	662	80
フロンティアコース	5クラス	669	663	194
合計	9クラス	1,569	1,558	330

平成29年度進路状況

(平成30年5月1日現在)(単位:人)

学部	卒業生	就職希望者	就職決定者	決定率(%)	進学者
現代社会	106	92	92	100.0	7
子ども育成	102	97	97	100.0	3
合計	208	189	189	100.0	10

(平成30年5月1日現在)(単位:人)

学科	卒業生	就職希望者	就職決定者	決定率(%)	進学者	研究生
食物栄養	81	78	78	100.0	1	/
幼児教育	86	85	85	100.0	1	
経営情報	109	106	106	100.0	2	
福祉	37	34	34	100.0	2	
食物栄養専攻	15	0	0	—	0	
合計	328	303	303	100.0	6	15

(平成30年3月31日現在)(単位:人)

大学	合格者	入学者	短期大学	合格者	入学者	その他	合格者	入学者	卒業生
富山国際大学	25	20	富山短期大学	34	32	専修-各種学校	59	57	258
国公立大学	6	6	公立短期大学	0	0	就職		45	
他の私立大学	122	73	他の私立短期大学	19	17	その他		10	
合計	153	99	合計	53	49	合計		112	

※就職進学者2名を含む

平成30年度入園児童

幼稚園

(平成30年4月10日現在)(単位:人)

	男	女	計
3歳児	15	7	22
5歳児	1	0	1
合計	16	7	23

平成29年度卒園児童

(平成30年3月31日現在)(単位:人)

	男	女	合計
5歳児	18	17	35

◆退職者一覧(平成30年3月31日)

- <大学> 高橋 光幸(現代社会学部教授)
- 水上 義行(子ども育成学部教授)
- 佐藤 勝秀(現代社会学部准教授)
- 吉田 昌弘(子ども育成学部准教授)
- <短大> 安達 哲夫(特命参事・経営情報学科教授)
- 富岡 徹久(食物栄養学科教授)
- 赤川 雅和(幼児教育学科教授)
- 亀澤 祐一(経営情報学科教授)
- 柴田 怜(経営情報学科講師)
- 岡田 良一(参事・就職支援センター長)
- 廣田 恵巳(食物栄養学科主事兼実習助手)
- <高校> 川西 嘉之(教諭)
- 嵯峨 和子(教諭)
- 上野 淳子(教諭)
- 國分 亮(教諭)
- 高橋 千春(教諭)
- 富田 卓代(教諭)
- 高山 直之(教諭)

◆新任者一覧(平成30年4月1日付)

- <大学> 瀬戸 健(子ども育成学部教授)
- 河崎 美香(子ども育成学部准教授)
- FRANK Mark Richard(現代社会学部准教授)
- 谷脇 茂樹(現代社会学部講師)
- 伊藤 雄馬(現代社会学部講師)
- 重本 祐樹(現代社会学部講師)
- 奥田 秀巳(子ども育成学部講師)
- <短大> 東野 善男(経営情報学科准教授)
- 森井泉 仁(経営情報学科准教授)
- 小平 達夫(福祉学科准教授)
- 藤田 恭輔(食物栄養学科講師)
- 明柴 聰史(幼児教育学科講師)
- 沢井 友義(参事・就職支援センター長)
- 吉沢 美樹(食物栄養学科主事兼実習助手)
- 岡野 文香(食物栄養学科主事兼実習助手)
- <高校> 清水由紀子(教諭)
- 高橋あづさ(教諭)
- 金子 愛子(教諭)
- 宮永 有季(教諭)
- 松平 健二(教諭)
- 中田 靖弘(教諭)
- 中山 良一(教諭)
- 岩崎 潤(教諭)
- 佐藤 壘(教諭)
- <幼稚園> 尾有 美善(教諭)

平成30年度 予算概要

平成30年度の事業計画及び予算は、去る3月28日の評議員会・理事会において承認されました。

各校ごとの主な事業計画及び予算の特徴は以下のとおりです。

大学

子ども育成学部は、教員採用試験合格者の実績などが評価され、近年は安定的に入学定員を確保しています。一方、現代社会学部では慢性的な入学定員割れが続いておりましたが、英語国際キャリア専攻の設置や副専攻プログラムを設けるなど志願者・学生確保に向けた努力を行った結果、平成30年度入学生は、定員を確保できました。

大学の定員確保は学園の存続にかかわる重要事項であることから、教育内容の充実と共に、学生募集活動の効果検証等を十分に行い、安定的に定員確保をめざさなければなりません。予算では33百万円の黒字を見込んでいます。

主な事業としては、①新たなアクションプランの策定及び外部資金の獲得並びにCOC+事業の着実な推進、②現代社会学部に「英語国際キャリア専攻」を開設し、グローバル化社会に対応した人材育成、③子ども育成学部の定員増を踏まえ、良好な教育サービスの提供及び教育

環境整備などとなっています。

短大

短大は、全国的な四年制大学への進学志向の流れを受けて、短大全体でも入学定員割れの見通しとなりました。特に、福祉学科の定員割れの状況は著しく、入学定員の2分の1を辛うじて確保するに留まりました。福祉学科では、このような現状を踏まえ、平成31年度には学科名称の変更及び入学定員の縮小を検討しています。福祉人材の需要は大きいことから、本学の福祉学科の「ソーシャルワーク分野・福祉ビジネス分野・介護福祉分野」を擁している学びの多様性を十分にアピールし、定員確保に努めなければなりません。予算では、今年度は36百万円の赤字予算となり、2年続けての赤字予算となりました。

主な事業としては、①学修成果の可視化及び継続的な向上に努め、教育環境の整備に取り組む、②広報媒体の多様化、充実などを図り、効果的な学生募集活動の展開、③サテライト方式による介護職員実務者研修の開始などとなっています。

高校

高校は、英語教育の充実やiPadを利用したICT教育の推進により、教育の質の向上が評価され、専願の志願者が増加しています。近年は安定的に生徒数を確保しており、

資金収支予算書

平成30年4月1日から  
平成31年3月31日まで (単位：千円)

	平成30年度予算額	平成29年度当初予算額	差異		
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,949,788	1,909,199	40,589	
	手数料収入	37,927	39,289	-1,362	
	寄付金収入	1,905	1,905	0	
	補助金収入	632,503	657,166	-24,663	
	資産売却収入	1	1	0	
	付随事業・収益事業収入	34,523	31,762	2,761	
	受取利息・配当金収入	10,220	10,220	0	
	雑収入	99,235	100,193	-958	
	借入金等収入	0	0	0	
	前受金収入	443,062	465,991	-22,929	
	その他の収入	595,144	457,135	138,009	
	資金収入調整勘定	-640,501	-642,051	1,550	
	前年度繰越支払資金	828,000	806,000	22,000	
	収入の部合計	3,991,807	3,836,810	154,997	
	支出の部	人件費支出	1,693,307	1,701,233	-7,926
		教育研究経費支出	607,104	587,546	19,558
管理経費支出		128,753	129,249	-496	
借入金等利息支出		0	0	0	
借入金等返済支出		0	0	0	
施設関係支出		338,046	214,407	123,639	
設備関係支出		39,567	37,388	2,179	
資産運用支出		359,730	338,987	20,743	
その他の支出		182,500	136,500	46,000	
[予備費]		15,500	15,500	0	
資金支出調整勘定		-139,700	-156,000	16,300	
次年度繰越支払資金		767,000	832,000	-65,000	
支出の部合計		3,991,807	3,836,810	154,997	

事業活動収支予算書

平成30年4月1日から  
平成31年3月31日まで (単位：千円)

	科 目	平成30年度 予算額	平成29年度 当初予算額	差異
教育活動収入	学生生徒等納付金	1,949,788	1,909,199	40,589
	手数料	37,927	39,289	-1,362
	寄付金	6,906	4,907	1,999
	経常費等補助金	632,503	657,166	-24,663
	付随事業収入	34,523	31,762	2,761
	雑収入	99,235	100,193	-958
	教育活動収入合計(1)	2,760,882	2,742,516	18,366
	人件費	1,698,907	1,710,233	-11,326
	教育研究経費	931,104	907,046	24,058
	管理経費	131,552	131,548	4
徴収不能額等	1	1	0	
教育活動支出合計(2)	2,761,564	2,748,828	12,736	
教育活動収支差額(3)=(1)-(2)	-682	-6,312	5,630	
教育活動外収入	受取利息・配当金	10,220	10,220	0
	その他の教育活動外収入	1	1	0
	教育活動外収入合計(4)	10,221	10,221	0
	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出合計(5)	0	0	0	
教育活動外収支差額(6)=(4)-(5)	10,221	10,221	0	
経常収支差額(7)=(3)+(6)	9,539	3,909	5,630	
特別収入	資産売却差額	1	1	0
	その他の特別収入	4	4	0
	特別収入合計(8)	5	5	0
	資産処分差額	30,000	25,900	4,100
	その他の特別損失	1	1	0
特別支出合計(9)	30,001	25,901	4,100	
特別収支差額(10)=(8)-(9)	-29,996	-25,896	-4,100	
【予備費】(11)	15,500	15,500	0	
基本金組入前当年度収支差額(12)=(7)+(10)-(11)	-35,957	-37,487	1,530	
基本金組入額合計(13)	-157,288	-187,257	29,969	
当年度収支差額(14)=(12)+(13)	-193,245	-224,744	31,499	
前年度繰越収支差額(15)	-2,776,130	-2,710,512	-65,618	
基本金取崩額(16)	0	0	0	
翌年度繰越収支差額(17)=(14)+(15)+(16)	-2,969,375	-2,935,256	-34,119	
(参考)				
事業活動収入合計(1)+(4)+(8)	2,771,108	2,752,742	18,366	
事業活動支出合計(2)+(5)+(9)+(11)	2,807,065	2,790,229	16,836	

平成30年度部門別事業活動収支予算書

(単位：千円)

収支状況においても46百万円余りの黒字予算となりました。今後は、更なる教育内容の充実についての発展的検討が必要です。

主な事業としては、①国際化教育及びICT教育の推進、②交通アクセス改善のため、通学バスの新ルート（新高岡駅発着）設置、③生徒数増を踏まえた良好な教育サービスの提供及びクラブ活動を含めた教育環境整備などとなっています。

幼稚園

昨年度より園舎改築工事に着手し、今年度は工事が続くことから、園児の安全性も考慮し、入園者数を抑えています。そのため今年度は厳しい予算編成となりました。しかし、幼稚園は園舎改築という特殊要因を除いても、慢性的な赤字体質であることに変わりはありません。今後は、平成31年度に幼稚園型認定こども園への移行に向けて、園の保育内容を検証し、財務体質の改善に繋がるような努力が必要です。予算では、205百万円の赤字予算となっています。

主な事業としては、①園舎改築工事の継続実施、②平成31年度からの幼稚園型認定こども園への移行諸準備などとなっています。

学園全体

事業活動収支予算において、事業活動収入合計が2,771百万円（対前年度当初予算比18百万円増・0.7%増）となっています。事業活動支出合計は2,807百万円（同17百万円増・0.6%増）となり、これから基本金組入額を差し引いた当年度収支差額が193百万円の赤字予算となりました。

資金収支予算において、平成30年度の諸活動に対応する収入として、学生生徒等納付金収入、補助金収入、付随事業・収益事業収入、平成31年度入学生の前受金、平成29年度末の未収入金の見込額等が計上されています。

一方、支出は、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設・設備関係支出等が計上されています。その結果、平成30年度の諸活動に対応する全ての収入・支出の資金として、3,992百万円（同155百万円増・4.0%増）が見込まれています。

学園の財政状況は、単年度予算ベースで若干改善したものの、2年連続の赤字となりました。これは、幼稚園園舎の建て替え工事費が大きく影響しています。しかし、今まで学園の財政を支えてきた短大において、2年連続の赤字予算となったことも重要な要因と言えます。短大の財務状況悪化は、学園全体に与える影響が大きく、早急な立て直しが必要です。

活動区分	科目	部門	法	人	大	短	大	高	校	幼	稚	園	総	額
教育活動収支	取事 入業 の活 動部	学生生徒等納付金		0	861,967	650,918	416,544	20,359	1,949,788					
		手数料		0	12,677	13,595	11,625	30	37,927					
		寄付金		3	2,901	1,002	2,000	1,000	6,906					
		経常費等補助金		0	178,525	159,185	273,618	21,175	632,503					
		付随事業収入		0	15,049	13,869	0	5,605	34,523					
	雑収入		200	27,820	70,101	1,114	0	99,235						
	教育活動収入合計(1)		203	1,098,939	908,670	704,901	48,169	2,760,882						
	支事 出業 の活 動部	人件費		28,587	613,158	589,846	424,503	42,813	1,698,907					
		教育研究経費		0	392,720	296,515	196,408	45,461	931,104					
		管理経費		11,099	52,849	49,374	17,359	871	131,552					
徴収不能額等			0	1	0	0	0	1						
教育活動支出合計(2)		39,686	1,058,728	935,735	638,270	89,145	2,761,564							
教育活動収支差額(3)=(1)-(2)		-39,483	40,211	-27,065	66,631	-40,976	-682							
教育活動外収支	取事 入業 の活 動部	受取利息・配当金		10,020	100	100	0	0	10,220					
		その他の教育活動外収入		0	0	1	0	0	1					
	教育活動外収入合計(4)		10,020	100	101	0	0	10,221						
	支事 出業 の活 動部	借入金等利息		0	0	0	0	0	0					
		その他の教育活動外支出		0	0	0	0	0	0					
教育活動外支出合計(5)		0	0	0	0	0	0							
教育活動外収支差額(6)=(4)-(5)		10,020	100	101	0	0	10,221							
経常収支差額(7)=(3)+(6)		-29,463	40,311	-26,964	66,631	-40,976	9,539							
特別収支	取事 入業 の活 動部	資産売却差額		0	0	1	0	0	1					
		その他の特別収入		0	0	4	0	0	4					
	特別収入合計(8)		0	0	5	0	0	5						
	支事 出業 の活 動部	資産処分差額		0	200	3,100	200	26,500	30,000					
その他の特別損失			0	0	1	0	0	1						
特別支出合計(9)		0	200	3,101	200	26,500	30,001							
特別収支差額(10)=(8)-(9)		0	-200	-3,096	-200	-26,500	-29,996							
【予備費】(11)		2,000	5,000	5,000	3,000	500	15,500							
基本金組入前当年度収支差額(12)=(7)+(10)-(11)		-31,463	35,111	-35,060	63,431	-67,976	-35,957							
基本金組入額合計(13)		-10	-2,190	-1,117	-17,222	-136,749	-157,288							
当年度収支差額(14)=(12)+(13)		-31,473	32,921	-36,177	46,209	-204,725	-193,245							
前年度繰越収支差額(15)		-	-	-	-	-	-2,776,130							
基本金取崩額(16)		-	-	-	-	-	0							
翌年度繰越収支差額(17)=(14)+(15)+(16)		-	-	-	-	-	-2,969,375							

(参考)

事業活動収入合計(1)+(4)+(8)	10,223	1,099,039	908,776	704,901	48,169	2,771,108
事業活動支出合計(2)+(5)+(9)+(11)	41,686	1,063,928	943,836	641,470	116,145	2,807,065

また、今後、呉羽キャンパスにおいては、短大二期工事、高校第2体育館建設、東黒牧キャンパスでは、校舎老朽化対策等など、資金需要が増えることが見込まれています。これからは、学園全体として資金積み増しのために、各校の努力が不可欠です。

私学を取り巻く環境は、少子高齢化の進行が著しく、非常に厳しい環境下にあります。加えて、新たに専門職大学・短大が制度化されるなど、更なる競争にも対応しなければなりません。このような状況下では、私学経営は今後ますます厳しさを増していくことは確実です。特に、地方中小規模の私学は、正に存続の危機にあると言えます。

本学園が存続し続けるためには、長年の歴史に慢心することなく、常に社会のニーズに応える努力が必要です。また、北陸で唯一の私立総合学園としての誇りを持ち、建学の精神に基づき、質の高い教育の提供と地域社会への貢献を果たして行かなければなりません。

このため、本年度から未来に亘る学園の永続的な発展を図るための「将来構想」の検討に着手しました。

我々教職員一同は、学園の発展のための努力を惜しまず、一丸となってこの厳しい時代を乗り越えなければなりません。

## 富山国際大学

## 現代社会学部 英語国際キャリア専攻始動

平成30年4月、現代社会学部の4つ目の専攻として、英語国際キャリア専攻が始動しました。本来、専攻は2年次に進級する際に学生に選択してもらいますが、英語国際キャリア専攻の場合は、入学直後に希望調査を行い、選択してもらいました。2年次後期に留学を義務付けているため、これに向けての準備をさっそく始める必要性があるからです。

文部科学省に届け出るまで、高校や受験生に広報活動ができなかったというハンディがあったにも関わらず、国際活動を視野に入れた学生が揃いました。

英語ネイティブ教員としてマーク・フランク准教授、さらに日本人の英語教員として伊藤雄馬講師を新たに迎え、これにウクライナ人でマルチ・リンガルのボグダン・パブリー准教授、国際教養担当の秦野るり子教授の専任教員4人体制で指導していきます。一期生の学生に実践的な英語力と国際感覚を着実に身に付けさせていくことで、後に続く専攻希望者を一人でも多く、と願っています。

## 富山短期大学

## ボランティア活動実践報告会で成果を発表

平成29年度ボランティア活動実践報告会を平成30年1月23日(火)のトミタンアワーの時間に開催しました。今年度は、積極的にボランティア活動に取り組みボランティア賞を受賞した2年生3名と1年生5名が1年間の活動内容や学び、抱負を発表しました。1年生は、地域の人々と触れ合いコミュニケーション力が身についた、2年生は資格を生かした学びと就職活動を行いながら自らが成長できたことを報告しました。学生が活動した施設や事業所の方々にも参加していただきました。ボランティア活動を通じて「もうひとつの学びの場」を体験し、地域に貢献できる人材になってほしいと期待しています。



## 富山国際大学附属高等学校

## 新入生を迎えて



本校は平成30年4月7日(土)に入学式を挙行了しました。定員を3割近く上回る330名の新入生を迎え、多くの保護者の方の参列もいただき、式場はぎっしりと人に埋め尽くされました。式は粛々と進行し、堀川中学校出身の前川温美(まえかわ あみ)さんが、新入生代表として、高校生活への期待と抱負を語ってくれました。

今年度の新入生は国際英語コース2クラス、特進コース2クラス、フロンティアコース5クラスの編成でスタートします。国際・特進系クラスの生徒数は合わせて143名と、過去最高だった昨年の115名を上回り、全入学者の半数にも迫らんとする勢いです。進学意識の高い

生徒が、本校を選択してくれるようになったことをしっかりと受け止め、生徒、保護者のニーズに応えられるよう努力を続けていきます。

## 富山短期大学附属みどり幼稚園

## 地域伝統の獅子が来たよ。すごい迫力だったよ。

平成30年4月14日(土)に幼稚園で親子交流会を開催しました。親子で登園して、各クラスで自己紹介をしたり、簡単なゲームをしたりして、家族ぐるみで交流しました。

その後、願海寺・野々上地区の獅子が幼稚園のプレイルームで、勇壮な獅子舞を披露してくださいました。園児たちの目の前で舞う獅子は迫力があり、思わず息をのんでのけぞる子どももいました。年長児は獅子の中に入れてもらったり、獅子に頭を噛んでもらったりと、獅子にふれあう体験もできました。

獅子舞保存会には、園児の保護者や卒園生がたくさん参加しています。懐かしい顔がいっぱいで、思い出話に花が咲きました。獅子が邪気を払ってくれたおかげで、今年もよい一年となりそうです。

